

緊急地震速報を利用した避難訓練（特別支援学校・高等部）

避難訓練

特別支援学校・高等部 特別活動（学校行事）

- 1 題材名 緊急地震速報が鳴った時の対応方法
- 2 ねらい 予測できない状況でも落ち着いて避難行動ができるようにする。
- 3 訓練の実際

【想定】

- ① 訓練の事前通知をせずに、緊急地震速報が鳴動
- ② 授業中の地震発生

	時間の推移	生徒の動き	◎支援・留意点 ■評価
時前指導			◎生徒には、事前通知をしないことで実際に即した訓練を行う。
避難訓練	○緊急地震速報の鳴動	【教室・校庭】 ○直ちに活動を中止し、身を守る行動をとる。 1 頭を守る ・机の脚を対角に持ってもぐる。 ・防災頭巾をかぶる。 2 扉を開ける。 3 窓ガラスから離れる。	◎生徒が適切な行動をとっているかを確認する。指導が必要な場合は、生徒の実態に合わせて具体的に指導する。
	○地震の発生揺れの収束		◎学校安全委員を招集して対応と役割分担を協議する。 避難決定 ・連絡（放送）を行う教員 ・集合点呼を行う教員 ・避難支援に向かう教員
	○校内放送による避難指示	○避難の約束、避難経路を守って避難する。 ○教員が近くにいない場合は自分で判断して避難する。 ○「おかしもち」を守る。	◎生徒を掌握し避難誘導を行う。静かに、歩いて避難させる。 ◎職員室にいた教員 ◎避難困難生徒を支援し避難誘導を行う。 ◎避難の約束が守れているかを確認する。
	○避難完了	【校庭】 ○整列をする。	◎人員確認を行う。 ◎全員が避難場所に避難したことを確認する。 ・生徒：指導をしていた教員又は担任が学年主任へ報告 ・教職員：副学年主任が学年主任へ報告
	○講評	○講評を聞く。	◎学年主任集約後、生活指導主任及び副校長へ報告する。 ◎生徒自身が、教室等からの避難経路を判断できたか、「押さない」、「走らない」、「喋らない」、「戻らない」、「近付かない」ができたかを振り返らせ、日頃からの心構えについて考えさせる。
事後指導		【各教室】 ○本時の避難訓練を振り返り、担任の話を書く。 ○自分の行動を振り返る。	◎災害時に自分でできることは何かを確認できるようにする。 ■落ち着いて避難している。 ■指示を聞いて安全に避難している。

計画

実行

評価・改善

幼稚園

小学校

中学校

高等学校

特別支援学校

生活安全

交通安全

災害安全

避難訓練

参考資料

関連する法規等
学習指導要領等

安全教育推進のポイント
安全教育の充実に向けて

安全教育の実践事例